

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1-178）」

2. 日時：令和4年10月19日（水） 10時00分～11時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋上席安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 大柿 専務執行役員

再処理・MOX燃料加工安全設計総括 他5名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html

- ・ 令和4年10月17日

「日本原燃(株)再処理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	録音を開始しました。
0:00:03	藤規制庁清水です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:08	本日のヒアリングは令和2年12月24日に申請があった設工認申請について、資料を基にヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:18	まず規制庁側の出席者を紹介いたします。
0:00:22	あと本庁会議室からシミズタジリカミデ。
0:00:28	等その他WEBから、
0:00:30	ハバサキオオハシ。
0:00:33	フジワラ。
0:00:34	タケダタカナシ。
0:00:37	コサクキシノ。
0:00:39	はい。江藤。以上になります。
0:00:42	それでは日本原燃の方から出席者の紹介した上で資料の説明を開始してください。
0:00:49	日本原燃の浅間でございます。議員原燃側の出席者を紹介いたします。
0:00:56	サトウ。
0:00:57	タカハシ。
0:00:58	セガワ。
0:01:00	フジノ。
0:01:01	ナカハマ部長になります。
0:01:04	先日ご確認いただきます資料でございますけれども、審査会合資料、こちらの方もご確認をいただきたいと思っております。
0:01:12	ではそちらの方から説明を開始させていただきます。
0:01:20	はい。日本原燃佐藤でございます。それではご説明いたします。10月14日のヒアリングの結果等を踏まえまして資料修正した点をご説明いたします。
0:01:32	まず2ページ目の目次ですけれども、福間一緒にしようということで、第一グループ第二グループといったところでまず大きく章を分けて、構成をしたといったところが一つ変更になります。
0:01:44	続きまして4ページお願いいたします。
0:01:48	第一グループの対応状況ということで、前回のヒアリングの時にですね、再補正や補正をした後会合してそこでの指摘事項を、

0:02:00	しっかり整理することということで、最初の二つ、申請対象設備の明確化類型化の考え方というのをですね、8月8日の会合で不十分と、指摘をされておりますので、そこを最初に記載をしまして、
0:02:14	あと個別具体的に、前回の資料では記載していたものを、申請記載事故の整理という表現にまとめさせていただきました。
0:02:23	その上でそれぞれ今現在のステータスを一番右の欄に記載をさせていただいております。
0:02:31	5ページ目お願いいたします。これ第一グループの反省事項等を対応ということで、当初はもっと分析をということで、ちょっと分析を試みたんですが、すいませんあの表記載上はですね、
0:02:44	多少ちょっと表現を変えたり推したぐらいで、あまりちょっと変わってはおりませんが、
0:02:52	かけるのは1分当たりかなというところで、まとめにしております。
0:02:58	二つ目のところなんですけれども、のは反省事項を踏まえた対応の二つ目のところで、第新生会事項や対象設備の明確化、これ第一グループの申請で行っております。
0:03:13	ちょっと書いておったんですけれども、これ4ページのところで現在まだ説明中というようなところが残っておりますので、
0:03:20	これは整合がとれておりませんでしたので、整理しているところであると言ったようなところでちょっと区切りたいというふうに思います。
0:03:29	一緒に仕事を分けたことで、これ第一グループの最終の補正に向けての反映事項と言ったような話にはなるんですが、全第二グループに向けても継続して取り組んで参るという話でありますので、この後にですね、
0:03:45	この一文を追記したいなというふうに思います。
0:03:48	それとちょっとここには表現しきれませんが、昨日、一昨日の耐震のヒアリングでの対応、これやっぱり社内的にも非常にやっぱり問題であるというふうに感じておまして、
0:04:00	そこの対応ということで責任箇所の明確化であるとか、作成部隊含めた社員への認識共有、
0:04:08	やはりどうするかというのはですね、今しっかり社内でも検討しておりますので、まず資料に落とし込めるか、当日ちょっと発話になるかはちょっとわかりませんがちょっとこの辺りも、
0:04:19	ちょっと我々の方からちょっと言及はしたいなというふうに思っております。
0:04:25	それから7ページ目になります。第二グループの申請方針のところにあります。

0:04:31	まず最初にですね分割申請の計画の変更をこれをさせていただきます、
0:04:37	8 ページ目にその概要をですね、表という形でつけさせていただきました。
0:04:43	変更後のところに米印の 12 と注釈をつけておりまして、この辺りで関係性の方も示させていただきました。
0:04:52	7 ページ目審査の申請の特徴ですけれども、これについてはまず面談で説明させていただいている類型化の話を詰め二つ目のレ点で記載させていただきます、
0:05:04	最後のレ点のところ、申請書のコンパクト化と言ったようなところで、
0:05:11	しっかり関係性を整理するという意味で、事業変更許可であるとか技術基準の要求事項金貨、これらの関係性を整理した上で、
0:05:21	既認可の内容を変更する必要がないことを説明した上で、既認可の有効もあったと言ったところを書かせていただきました。
0:05:27	最後の四角ですけれどもこれらの方向性については現在規制庁さんの方と面談する施設をご理解を図っていると行ってきたと。
0:05:36	ていただきました。
0:05:38	説明は以上になります。
0:05:42	近江です。
0:05:44	では規制庁側から確認
0:05:49	規制庁のタジリです。ただ最初の方のページから順にと思っているんですがまず 4 ページなんですけど、
0:05:58	各項目ですいませんちょっと下の方からで申し訳ないですけど申請書記載事項の整理というところで、
0:06:03	施設共通の話でなんか最近やってるようなところの話はされてる気がするんですけど、前回会合においては、MOX等の人をしながら区域とかやりましょうとかそういう話とかも踏まえて、
0:06:15	ここ 1 ヶ月の対応があったものと思ってるんですけど、
0:06:19	すごく限定的に書かれてるような印象を受けるけどそこはどこで読んでもイメージなんだっけ。
0:06:27	読売佐藤でございます申し訳ありませんおっしゃる通りで、前回ちょっとタイトルにその六つの整合ということで、
0:06:35	そして、
0:06:35	この閉じ込めのその共通個別の書き分けといったところを書いておりましたけれども、

0:06:41	タイトルがちょっとわかりにくいということで、
0:06:44	簡略的に製作者事項の整理で、その例示として書かせていただきましたので、ちょっとMOXとの整合といったところが確かに抜けておりました。
0:06:53	これについてはですね、拡充が必要な事項の大きな中身でもあると思いますので、この共通個別とは別んのものとして新たにちょっと口頭起こしてですね、
0:07:05	MOXの製造といったところも追記させていただこうと思います。
0:07:09	規制庁館です。起こすかどうかというところおまかせするんですが前回会合から何やってたのかっていうところもここである程度読み取れないと。要は、2、3ヶ月たって何してたのっていうところで、
0:07:21	最近だけの最近あと少し残ってるような項目だけ上げた形になると、何してたんだっけっていうところにどうしてもなってしまう気がするので、前回会合以降こういったところを整理を進めてましたという中で、MOXとの整合の話とか前回開放してきたものっていうの対応してたところをわかるようにだけしていただければと思うんでよろしくお願ひします。
0:07:39	承知いたしました。
0:07:42	瀬戸館です。ついでに類型化の考え方のところなんですけど、前回のヒアリングの時に、地震と材料構造の話だけなんでしたっけっていう話があって、そこは何か適正化されるようなお話だった気がするんですけど結局ここに焦点を当てて書くっちゃう話でしたっけ。
0:08:02	はい。日本原燃の瀬川でございます
0:08:05	しっかりした説明、ちょっと言葉が適切じゃないですけども、類型化の観点でものだと思ってるのは地震と材料構造だと思っております。その他の
0:08:17	外部衝撃関係も類型化の対象、整理をしていかなきゃいけないんですけどもそちらについては、
0:08:23	00資料の審査の中でですね、
0:08:28	設計方針の展開の確からしさよさ加減と、あとそれを踏まえた目次構成といった部分も、00の資料で見取れると説明ができるよ。
0:08:39	思っておりましたのでちょっと記載を割愛しておりました。材料構造については地震動のですね、補足説明資料、
0:08:49	を準備して、その類型化の部分についてももう少し深掘りした、説明が必要かというふうに考えておったところですよ。以上です。
0:08:58	規制庁渡です。これも前回のヒアリングの話が出たと思うんですけど

0:09:02	結果の話も、第1回申請の範囲でやることと、第2回申請の方に向けてやらなきゃいけないところを多分ある程度線引きしてやっていただく必要があると思っていて、今のお話だと前回、
0:09:13	仙田の方の話でこういった項目を整理してかなきゃいけないよねって話だった、耐震とか材料構造委員会の下のほうの自然現象部分も関係ないんですって言うように近くなってしまうので、
0:09:23	含めて結果の整理は今後2回に向けてしてくってという話と、今個別の話としてやってる地震材料構造の花C O、4ページに徳田資するっちゅう話をごちゃまぜになっていて、
0:09:35	ただ0シリーズでも説明できてるんですって鼻Cをされても、名前にもお伝えしたんですけど、そんな説明を具体的に聞いた覚えもあんまりないところだと思っているので、その点はしっかりすみ分けが必要かなと思ってんですけどそのあたりで認識大丈夫そうですか。
0:09:50	はい。日本原燃の瀬川です。失礼いたしました
0:09:54	竜巻だとか火山とかについてもですね、類型化といったポイント、そういったキーワードを出した説明というのを、今後の00資料の中でご説明させていただきたいというのは先日のヒアリングで申し上げたつもりでした。
0:10:08	ちょっとその趣旨をちょっとここの記載すいません。思います。
0:10:13	規制庁コサクですけどここは第一グループとしてやるべきことの話。
0:10:19	であって、前回会合から何で2ヶ月も経っても、それが、
0:10:25	後どうなるんだ。
0:10:26	いうことの説明ですから、今話したのは、第2回でやること忘れずにねってというような部分も入っちゃってるような気がする。
0:10:37	ですよ。
0:10:39	ちょっとそこら辺、どう仕分けるのかも含めて話をした方がいいと思うんですけど、田尻さんもすみませんその点でもう一度言っていただけます。
0:10:47	はい。規制庁田尻です。第1回の範囲でいうと先ほど言った外部事象とかの話っていうのはあくまで第2回以降に向けてどう整理する悲しいが主眼の話だと思っていて、
0:10:58	00においてある程度話できるところがあるかもしれないんですけどそこに関しては面談でも話し合いというふうに全体像を整理した上で、その全体像になった形に変えに向けて整理しましょうねって話なんで雨谷部次長の話だけを別に、今回類型化の話で飛ばして説明して欲しいと言ってるわけではなくて、

0:11:15	今ここでタイトルだけで言うと、類型化の考え方っていうふうにだけ4ページのところで書かれていて、ここで言ってるのが、今の地震とかで進めている話第1回の関連でもある程度整理しなければいけないもののお話として言われてるやつのお話を言ってるんだったらそこがわかるように書いていただきたい
0:11:31	すいません、ちょっと自分の説明が少なくて申し訳ないんですけど。
0:11:35	この話から話してる第2回以降に向けてやらなきゃいけない話と、ここで言ってる第1回で今やってる話をちゃまぜに書くとおかしくなるので、あくまで4ページはそこ第1回部分に絞って説明していただきたいとそこは、ある程度タイトル部分でもわかるようにしていただきたいというのが趣旨です。
0:11:56	日本原燃の瀬川です。
0:11:58	今、田尻さんが最後におっしゃられた分類の部分で類型化の考え方って言ってしまうと全部対象のように感じてしまうので、第一グループで類型化の整理をしっかり終わらせておかなきゃいけないのが、
0:12:13	地震と在庫をです、ですといったところを、キーワード的にわかるように、表現を工夫したいと思います。
0:12:23	規制庁コサクです。それで言うとはですね、第1回、第2回、何が分かるのか、その中で何で地震が出てくる
0:12:33	ということについては、
0:12:37	狩野。
0:12:39	条文とか妥当添付書類について、表ん設計方針の部分の添付書類はついてて、一部評価にも入ってくる部分ありますけど、
0:12:51	ある程度累計の上位概念部分までしか、
0:12:56	出さないで済んでいるところというのは、それよりもぶら下がる部隊のところは第2回になってるということなので、第2回で整理をすればいいと。
0:13:08	いうところが多分にあるということです。
0:13:11	で、と言いつつ、00資料の中ではある程度その添付の構成だとか、
0:13:18	いうのは上がってるので大体の
0:13:21	累計の骨格っていうのは話は聞いているでしょう。
0:13:26	ということだと思うんですね。それを瀬川さんは大体0ずれで整理できると言われたということだと理解をしています。
0:13:34	一方
0:13:36	自身は何今回いろいろと話をしてるかっていうと、実際にその耐震評価が入ってきていて、

0:13:44	D評価書の具体にまで入っているから、
0:13:47	それについて、今後の第2回も含めて、累計代表性と、
0:13:55	ということが的確にできるようになってるのかっていう話をしていると。
0:14:00	いうところだと思ってます。
0:14:04	なので、
0:14:07	ここでその類型化って書いてるからやっぱり、
0:14:09	間違ってる、
0:14:11	累計として書類を全体体系的に作ると。
0:14:15	いうことは、全体にかかるんですけど、
0:14:19	具体の評価、評価結果の説明というときに、何を代表として、
0:14:25	説明をしていくのかそれに、それに注力して行って、効果的にやっていくのかと。
0:14:32	いうところの思想がここに表れていなくて、
0:14:36	それで時間がかかってるっていうことすらも理解ができないっていうことじゃないかなと思うんですけどいかがですか。
0:14:48	はい。日本原燃の瀬川でございます。コサクさんにご指摘された通りかと思っております。
0:14:57	衛藤。そうですね。
0:15:01	うん。
0:15:04	うん。すいません。
0:15:06	そうですねちょっと繰り返しになっちゃいますけれどもその地震だとか、在庫だという評価をもう、ちょっと代行は今回の申請範囲だと変更なしになってちょっと特集ではあるんですけども、
0:15:19	そういった変更なしのものに対しては、
0:15:21	どういう説明の省力化を図るかという観点でしっかり、その説明のまとめり累計というのを整理していかなくちゃいけませんし、地震というのは、今回具体的な評価を含んでおりますので、
0:15:34	それを基にですね、将来、説明するべきであることもきちんと念頭に置いた上で、今の申請書として、
0:15:43	どう駆けつけて整理しておくのが、お時間に対して
0:15:49	担当者投資になるかといった部分についてですねきちんと
0:15:52	頭を使わなくちゃいかんと、いうことだと思っておりました。以上です。
0:15:58	はいコサクです。
0:16:01	そう、今言われた通り、材料構造は今回評価出てこないの、それで優等次回以降でいいはずのところなんだけど、

0:16:13	とは言っても先ほど言ったようにその上位の方の方針は示さなきゃいけないくて、そのときに、ぶら下がるものに配慮して書いてもらわないと、
0:16:24	体系的なものになりませんよということで最低限やらなきゃいけないことっていうのはあるという認識を持ったので、その整理を進めていますと。
0:16:36	ということだと思うんですね。受振の方も、
0:16:41	これまでは何となく地震大信としてやってただけどそもそも耐震設計をするって何なの
0:16:47	いうところで元の機能が何でそれを、どの程度の耐震設計をすることで機能維持を図るということになるのかそのための評価ってどうなのかと。
0:16:58	いうことの体系を整理をしていかないといけないねっていうのに時間を費やしたはずで、
0:17:03	その様を見せるようにここでさせていただくっていう。
0:17:09	大体理解をしていただいたと思いますので、
0:17:12	わかるように資料を作ってください。
0:17:14	以上です。
0:17:17	はい。日本原燃のセガワで承知いたしました。
0:17:27	うん。
0:17:33	うん。
0:17:59	はい。日本原燃の瀬川です今上出さんからご指摘受けた部分ですねこの資料出してから、
0:18:07	まだコメントもらってるようななんていう話をですね、社内でもしていてですね、なかなかこの説明済みと説明中という、このキーワードだけで表現するのはちょっと辛いところは、
0:18:19	あるかなとは思っております概ねみたいなのがついちゃうのかな。
0:18:24	ちょっと難しいですね。
0:18:29	はい。
0:18:37	ちょっと説明をし切ったというもの。
0:18:43	とちょっと仕分けできる表現の工夫はちょっとしたいなと思います。
0:18:48	規制庁カミデさ、
0:18:52	欄を作る。
0:19:44	はい。日本原燃の瀬川です。はい。上出さんのおっしゃっていただいた構成でですね、少しステータスと、
0:19:54	必要な事項の

0:19:55	統合したような形で、表現するようにちょっと工夫いたします。以上です。
0:20:05	古作です。そうしていただいた方がいいかなと思うのは、その上の申請対象設備の明確化もですね様子、溶解設備等は説明済みと言われても、
0:20:16	資料として与野党見れる形になりましたねというものであって、
0:20:23	それ以外のものはじゃあどうすんのといったところもいまいち見れないし、
0:20:34	というところで、一応
0:20:38	冷却水設備だったり換気設備とかもこの間ヒアリングして、いくつか、
0:20:45	コメントがあっ
0:20:46	いうところですけどそれはどうなのみたいなども結局横江だってよくわかんないんで、
0:20:51	その辺りがわかるようにまとめておいても
0:20:54	いいだろうと思います。
0:20:59	承知いたしました。
0:21:01	コサクです。その下の代表の網羅性の考え方って、これは何でここに書いてあって、累計とどういう繋がりになってるのか。
0:21:12	はどうなってるんでしょうか。
0:21:15	失礼しました累計の方でもちょっと代表というキーワードが出てくるのでちょっと混在しちゃうんですけれども、対象設備の明確化でも7設備タカハシ8設備を説明させていただいておりました。
0:21:30	全部で56ぐらい設備あるんですけれども、
0:21:35	残りを説明しないでも、この代表7設備説明すれば、抽出プロセスの説明としては十分なんだよといった部分の説明が足りてなかったという認識でございます。前回のヒアリングで、
0:21:47	さらに再処理で特徴的なガラス固化体作ってるところとか、
0:21:52	高レベル廃液濃縮缶とか、そういった特徴的な設備もあるよねというようなご指摘もいただいておりますので、そういったところも含めてですね、どこまで説明すれば、抽出プロセス全体をカバーできたよといった部分のご説明をしたいなと考えて、
0:22:08	ところがこの二つ目の四角の
0:22:11	考え方の部分になります。以上です。
0:22:14	古作です。わかりました。それで今、冷却水間機運はヒアリングはしたけどみたいなのところに加えて、特有の設備っていうのが、まだ
0:22:29	説明ができてないっていうような感じの3番構成ぐらいになる。
0:22:33	仲間。

0:22:34	実情の理解っていうところですかね。
0:22:40	私どももそのように認識しております。
0:22:43	はい。若井。
0:22:45	わかりやすく
0:22:52	規制庁タジリです。
0:22:53	あとそれちょっと自分から言ってんすけど、4 ページ目というか
0:22:57	第一グループとかっても共通用語になってましたっけ。
0:23:01	世の中の的に、いきなり第一グループの対応状況って言うては、変わるもんだったかっていうのが、八島さんなんかも久慈のところからで恐縮ではあるんですけど。
0:23:09	これ一番最後のやつ行けばまだわかるけどここ第一グループ書かれてなかったりして、これ大丈夫だという大和田第 1 回申請グループっていうことでしたよね。
0:23:20	小コサクです。それで言うとはですね、
0:23:23	目次見てもらうといいと思うんですけど、
0:23:26	第二グループの申請方針について 2 ぽつあるんですけど、
0:23:32	この断面で第二グループって言うてしまうと、第三グループは別にあってそれは説明しないっていう感じに見えるわけですよ。
0:23:41	なんですけど。
0:23:42	統合して、第三グループも、
0:23:45	合流しているものの申請方針であって、
0:23:50	そうすると今田尻が言ったように、定義的には
0:23:56	現行の申請書の中での、第三グループまで書いたものっていうのが、
0:24:02	定義されてるものだとするとちょっと語弊があるものになっちゃうので、もうちょっと、
0:24:09	ニュートラルに変えた方が確かにいいんじゃないかなっていう気がしてて、今聞いたところでいうと、現在申請している設工認の対応状況というのと、
0:24:21	今後の対応状況っていうことかなと思いますけどいかがですかね。
0:24:27	はい。日本原燃の瀬川です。ご指摘の通りですね、第一グループはあくまで 12 月 24 日申請のものでし、第二グループは次回、
0:24:36	次回申請のことを指しておりますので、表現はしっかり改めたいと思います。以上です。
0:24:48	青少対ですよろしく願いいたします。
0:24:52	4 ページに関しては、
0:24:55	4 ページに関して他にどなたか何かありますか。

0:25:00	颯爽であれば5ページなんですけど、5、5ページはその辺ちょっと説明が行ってよくわからなかったところがあるんですけどこれぐらいが限界でしたみたいな話を少しされた気がするんですけど。
0:25:11	これ、基本的に前回からそこまで結局突き通し検討したけれど結局難しかったとかそういう話ですからちょっと趣旨がよくわからなかったんで一応もう1回聞いておきたいんですけど。
0:25:22	八木サトウです。おっしゃる通りでもともとコメントとしてもっと分析をしてその背景要因までということをおっしゃっていただいたんですが、ちょっと高校数日でどこまでこの深掘りがあっていったところを考えたときに、
0:25:37	やはりちょっとなかなかこの書面紙面上に戻すといったところは、
0:25:41	ありまして、前回の記載にちょっとプラスアルファで、ちょっと修飾をつけた程度に終わってしまいましたというそういうご説明でした。
0:25:50	規制庁館です。なんで、分析は行ってるんだけど、会合資料に向けて1枚とかで綺麗に整えようとするんですけどさすがにちょっと難しいんですとかそういう意図ですかね。分析すらしてないんじゃないかと分析はしたけれど、資料に落とし込むのはちょっと今回厳しいんですってことですかね。
0:26:08	売り上げサトウですそういうことでございます。
0:26:10	ちょっと、
0:26:12	しましたけど、
0:26:13	昨日一昨日のヒアリングの状況も踏まえて、さらにちょっと分析を今やっているところというところでございます。
0:26:21	瀬尾館です。何でこの資料としては、一応もうこの通りでいこうと思っていて分析部分に関して今までの部分は当然やってきてる中で耐震において今あまり適切じゃない対応があったところとか追加的に検討するところはちゃんと進めてますよってことですかね。
0:26:37	山根サトウです。はい。その認識の通りです。
0:26:41	ちょっと次です。5ページ目に関してはちょっと前回も似たようなことってしまったんですけど、何か、何ともこれ以上言いがたいところがあるんで他の方から何かあればお願いします。
0:27:42	日本原燃佐藤です。ちょっと社内でも議論したんですがもともとこの前段で、固執するあまりすいません、反省事項の
0:27:53	対応の方で、
0:27:55	柔軟な発想ができると言いたいなところもちょっと書いてはいたんですが、当初のその反省事項としては、

0:28:02	皆さんの発想ができる、もう今のその、
0:28:07	フィック委員会であるとか、当初設計これに固執して、もうその頭で規制庁さんの方も
0:28:14	形といいますかそのヒアリング等を通じてやっていたので、頭の颯爽柔軟な発想ができなかったといったようにそのコミュニケーションは、
0:28:23	ある
0:28:25	しているというそういう趣旨でございます。
0:28:29	清長官。
0:28:32	まず、柔軟な発想って言われたんで、
0:28:37	何のことか。
0:28:39	図に技術基準の、
0:28:47	新
0:29:04	よく、
0:29:10	人のサトウです。
0:29:13	使い方が悪かったのかもしれないですけども、やはりその当初設計であるとか、既認可の内容というのがもう完全に制度や、
0:29:20	それ以外はなかなか受け入れるのかどうなのかって言ったような、固執した発想があったんだけれども、それ以外でも、当然、技術基準に適合をさせるようなやり方であるとか、説明性が向上できるようなやり方等もあるであろうといったようなところの、
0:29:39	何て言いますか。
0:29:41	この転換といいますかその辺りがちょっと欠けていたと言ったような出資でございますそれを、コミュニケーションをとることによっていうのも、
0:29:51	見いだしのところがちょっと依存するところがある。ちょっと正確な表現じゃないかもしれませんが、規制庁さんとのコミュニケーションの中で、そういったアイデアであるとか、
0:30:02	しっかり掴みできなかったといったところも含めて、コミュニケーションを図ることができてなかった。
0:30:10	いうそういうこと。
0:30:12	思っております。
0:30:32	こういう
0:31:23	がいいんだ。
0:31:41	売り上げサトウですおっしゃる通りで、ピンクだからいいっていうそもそも誤りといったところの振りがあって、やっぱり各個人個人の意識で

	あるとか、それを指導するカーン管理者っていうようなところの話まで行ったんですが、
0:31:55	ちょっとそこまでいろいろ書いていくと、とてもその数ページの社史使命には収まらないなということで、ちょっとこういうコミュニケーションを図れる要因という言葉にさしてもらいます。ちょっともう少し丁寧に書く。
0:32:08	ように考えます。
0:32:14	資料。
0:32:32	締め
0:32:42	はい承知いたしました。
0:32:47	コサクです。
0:32:49	書面、ダノンなんですかね、紙面の都合でみたいなこともちらっと言われます。どうであればもっとシンプルに言ったら、
0:32:59	くて、
0:33:02	せ、
0:33:04	経営を1からやろうとせずに、
0:33:09	やってしまったというその設計者としての思想が足りなかったっていう。
0:33:14	と古老とコミュニケーションっていうのをごちゃまぜにするから、書きづらくなるんであって二つに分けてそれぞれ端的にすりゃいいんじゃないかっていうふうにも思うんですけどいかがですかね。
0:33:27	日本原燃佐藤です。おっしゃる通りだと思います。設計者としての姿勢が足りなかったんでそれをちょっと志賀可児由来と言い方しましたけども規制庁さんとのヒアリングコミュニケーションの中で吸い上げられなかった。
0:33:40	ということを最初申し上げたんですが、それだけではなくて退院依頼ではなく、やっぱり我々自身としてそういう思想発想が必要といったようなところ。
0:33:49	だと、いうことは申し上げたつもりでしたのでそこがわかるように、記載いたします。
0:34:10	はい、CTO鳥井ですと、5ページについて他に規制庁側から何かありますか。
0:34:17	コサクです。あ、すみません。衛藤。
0:34:22	他も同様に、
0:34:30	何が準備。
0:34:34	プロバー。

0:34:35	上の、それまでの作業を見てもですね、
0:34:41	膨大であることから、と言いつつ、記載事項や明確化は整理って言われても何のこと言われてるのがよくわからない。
0:34:52	ですよ。
0:34:56	なんでしたっけ。
0:34:58	弓削佐藤でございます。もう再処理施設ということで、参考として炉の審査はあったんですが、処理施設ということでは前例もないと。
0:35:08	設備数も先行に比べて圧倒的に多いといったところで、この辺りであと
0:35:16	いや、前例がないということで、どこまで何を記載すべきなのかといったようなところの、目安とするなるものもないので、本来我々の方からその考え方を整理して、
0:35:27	事前に準備した上で説明する必要があったと、ことだったんですけども、その説明責任といったところの認識に欠けていて、事前準備が不足したと。
0:35:37	いうところを、ここで述べたかったということです。
0:35:48	すいません、補足です。ごめんなさい。いまいちよくわからなくて、
0:35:54	すいません。まさに事前の準備不足分が不足といったところをさらに深掘りという意味では、説明責任を果たすというふうに認識急がなかったといったところ
0:36:05	でいくというふうに思っ
0:36:07	て、
0:36:08	それに対してちょっと、まだすいません反省事項を踏まえた対応のところの書きぶりが、
0:36:14	難しかったので今ここの表現でちょっと止まってしまったという、
0:36:17	来た。
0:36:18	以上です。
0:36:25	ていうのは
0:36:32	がずれて、
0:36:37	俺の認識がなってなければ幾ら説明責任はあると思っていたところで説明は
0:36:48	何か、
0:36:49	人が外れてやしないかなっていう気がするんですけど、第1回で何が準備不足だったと思ってる。
0:37:01	はい。日本原燃の瀬川です。
0:37:05	今回の第1回申請のところで、大失敗だったなっていうのがですね冊全農参考にするっていうような、

0:37:17	考え方と、あと許可整合といったところのはざまですね。
0:37:21	許可整合を最優先にすべきところを、勘違いしてですね、この記載にしっかり合わせにってしまったっていう大失敗、そこがまず
0:37:31	以前の認識不足だし、
0:37:34	認識共有不足だしそういう姿勢も不足だったのかなというふうに反省してるところですし、
0:37:40	あと、申請対象設備といった部分についてもですね、
0:37:44	真木原価から設備を変えてるわけではない。松井果也設備とかありますけれども変えてるわけではないので、
0:37:51	その仕様表記載対象の設備とかですねそういったものも、
0:37:55	変更する必要がないだろうという思い込みがあったわけなんですけど、こちらについては一方で先ほどに合わせ過ぎたという部分に対して逆にですね、道路の考えをみなさスギトっていうまた悪さがあって、噂があったと。
0:38:11	いうふうに思っておりますそういったところでのですね、
0:38:15	一言で言えば、準備不足っていうか、詰めの甘さっていうか、
0:38:20	そういったところがあったというふうに認識しております。以上です。
0:38:26	はい、補足ですわかりました
0:38:29	に、大きく言うと2点が時間がかかった。
0:38:34	ていうのは、全く、
0:38:36	Bなので、
0:38:37	そういったところがわかるようにしていただければいいなと。
0:38:43	記載されてないと。
0:38:45	会合でこういう話をして、
0:38:47	振り返る必要が出てきちゃう
0:38:52	承知いたしました。
0:39:08	コサクです。私からは、飯野でカミデさん。
0:39:24	時間がかかっちゃう。
0:39:35	辛さが時間がかかったことその分が、
0:39:39	反省事項ではなくて、風に聞いてるところですね一言で表すと準備不足、
0:39:46	柘植の甘さ、
0:39:48	ということが、
0:39:49	反省事項という認識です。
0:39:57	して、何のために反省を踏まえた対応する。
0:40:02	話だと、準備さえできてれば、

0:40:04	第2回を
0:40:06	みたいな
0:40:08	そう。そうじゃなくて、今まで事業者が思い描いた工程で審査対応するってというのがやっぱり、
0:40:15	できなかつたっていうこと。
0:40:17	ということなんですよね。
0:40:23	申請書。
0:40:27	すいません。
0:40:30	今日、明日、大卒通り進まなかったという結果そこですね。そこ、状況社内的には反省しなきゃいけないところなんですけれども、
0:40:40	はい。
0:40:41	うん。
0:40:41	そこも、そこに至る原因は何だと言え、
0:40:45	すみません繰り返しになっちゃいますが準備不足ですよ。そういうことでいいと思って、
0:40:52	書くのはそういう準備不足とかだと思んですけど、大本で改善したい事項っていうのを、
0:40:58	西川さんとかがいけないなと思ってそこはちょっと説明がなかったので、一応確認したものです。
0:41:09	時間がかかりましたっていうことで事前の準備不足っていうのが、
0:41:15	何のことなのかっていうのはやっぱりよくわからなくて、申請対象責務の明確化っていうのは、結構昔から、
0:41:25	申請前から会合でも話を聞いていて、何か機器数が2転3転したっていうもの
0:41:33	あとは、申請書の記載事項も、
0:41:36	基本方針の話の回答の話なのか、あと
0:41:42	補足で時間がかかったりとか、あと耐震だっ等、地盤モデルとか、液状化の話でそもそも技術的にどこまで説明するか。
0:41:53	認識が合ってなかった、やればいいのかと。
0:41:57	その辺も既認可通りやるときゃいいでしょっていうところに繋がるような気がするんですけど。
0:42:03	時間を要するっていうことに対してもいろいろファクターがあるのかなと思うので、いくつか、
0:42:11	代表例というか、カテゴリー的に書いてあるのかなと思ってるんですけど。
0:42:18	事業者としてはどんな感じですか。

0:42:23	はい。日本へのセガワです。確かにカミデさんは、今、ご指摘された通りですね。
0:42:31	時間を要したといったところの規定にすればですね。
0:42:35	まだまだあそばさというか、
0:42:37	これまでの代表的な問題点というのは、やっぱ上がってくると思いますので、もう少しキーワードを活用したいと思います。
0:42:47	はい、規制庁亀井です。わかりました。その辺が明確になれば申請前に、
0:42:52	適切に反映するっていうところも、大体何が反映されればいいのかっていうのが見える。
0:42:59	で、こんな感じで、
0:43:02	意識をすごい。
0:43:07	はい、承知いたしました。
0:43:10	小尾です。参考なんですけど、
0:43:13	事務局の機能強化っていうのはこういう部署でいうと、
0:43:18	どこで新規性基準でしたっけ、許認可業務会社。
0:43:24	許認可、業務課になります。
0:43:27	はい。ちなみに、機能強化っていうのはどういうことなんですか。人をふやすのか。
0:43:33	権限をふやすなんていう。
0:43:39	日本原燃請願ですけれどもまず一つは許可をやってきた人間っていうのを許認可業務課に集約させると。
0:43:50	あとこれが一つ、対応としてやったことですし、
0:43:55	こういう許認可業務やはり
0:44:02	という、弱点も、最初、
0:44:08	ですね、応援していただいてですね、そういった部分の、
0:44:12	わかば費活用
0:44:15	わかります
0:44:20	あと
0:44:23	レビューだけじゃなくて、作成にも関与するって上がりましたがけど、一番最初に書いてあるコミュニケーションの面ではこの事務局の人たちっていうのは、何かやらないんですけども、
0:44:39	安全面としては、今、上出さんがおっしゃられたコミュニケーションと いった最初の上の方にできている
0:44:47	規制庁さんとのコミュニケーションとか、そういう部分のことでおっしゃられました。

0:44:53	はい。そのつもりでいました。反省事項なので、
0:44:59	別に事務局の人がやらなきゃいけないと思って言ってるわけじゃないんですけど、そういう関係で何かするのかなと思って聞いている。
0:45:05	ここは、
0:45:08	はい。日本原燃の瀬川ですそういう意味では、
0:45:14	面談で、今まさに進行させていただいているようなああいう類型化の認識合わせみたいところはですね、条文任せにせずに、
0:45:26	この許認可の人間が、積極的に表に出てやらせていただいておりますし、
0:45:32	サトウ、各上で 00 資料のですね、認識合わせみたいところでも、
0:45:38	ここ明確に役割分担条文を担当してる人間と許認可の人間で役割分担を明確にしているわけではなくてその時折々で、
0:45:46	F Dを考慮しながらですね、規制庁さんに電話させてもらったりとかですね、そういったところで、
0:45:53	事務局側もですねコミュニケーションしたり促進する。
0:45:58	いい顔になっているという認識でございました。以上です。
0:46:04	成長カミデです。事務的な連絡云々というよりは、ヒアリングの関係なんですけど、今も
0:46:14	常に、
0:46:15	いろんな条文に対して、この事務局の人が必ずいて、我々とのコミュニケーション様だとか、この
0:46:23	何ていうか、し、
0:46:25	コメントの意図だとですね、キャッチアップ、横断的にもキャッチアップできるっていう体制であれば別にいいんですけど、そんな感じでしたっけ。
0:46:37	日本原電の瀬川です。
0:46:39	衛藤さん、そんな感じだったかと思われて、そ、その通りですというのはなかなか答えづらいんですけども、
0:46:48	協議会の人間もですね、ヒアリングに参加させていただいて、条文が部分を担当してる人間からの説明に対してちょっと伝わりづらいなと思うようなところに対しては、
0:47:00	さらに補足説明を加えてですねこういう意図だよといったようなところまで、できる限りさせていただいておりますし、
0:47:09	もちろんその場に身を置いてですね、
0:47:13	コメントは、をやっていく場合にですねそういった趣旨じゃないよねと、こういうことだよねというようなところで、

0:47:19	変な方向に行かないような是正をかけるという意味でのコミュニケーション、間接的なコミュニケーションですけれども、そんな工夫をやってきているつもりでございます。以上です。
0:47:30	はい。規制庁、五味です。今やってるんであれば、資料の仕上がり段階でレビュー。
0:47:37	だけって書いてますけど、そういう対応もやってて、それ以外でも、今後こういうことやってますっていうことなので、
0:47:47	あまり謙遜されずに、実状のまま書いてもらえればいいんじゃないかなと思います。
0:47:56	日本原燃の瀬川です。ありがとうございます。はい。
0:48:00	承認をさせていただきます。
0:48:04	私の
0:48:08	はい、規制庁館です。
0:48:10	7ページ8ページからの機械からの話に入ってくる。
0:48:14	けど、
0:48:15	7ページは
0:48:16	はい。
0:48:17	としたいというふうに言われた。
0:48:23	話をしてもらうこと。
0:48:29	あれ。
0:48:40	成長
0:48:43	資料の追加とかの話をしたいと。
0:48:48	少し、
0:48:50	ちょっと自分の方からさっきちょっとコメントさせていただければと思うんですけど、
0:48:54	衛藤。
0:48:55	結局7ページの四角で言うと二つ目のところから、マーケット類型化の話はどうしていくかっていうところなんですけど。
0:49:03	今一名に代表するかはわかりづらい表現にはなっているんですけど、結局、
0:49:08	類型化をした上で
0:49:10	計算の手法であるとかそういったところってのは統一的に説明できる部分があるのでそこについて代表を説明して最後
0:49:18	チェックの二つ目のところで代表以外の設備については計算結果等を示すっていうのは、その前段部分で、統一的な評価方針であるとか、手法についてご説明した上で、

0:49:29	まず数値的なパラメーターの間でつけるパターンメーターであるとか、計算結果については代表以外の設備についても示しますよって書いてあるんですかね。
0:49:42	日本原燃の瀬川です限りさんに今おっしゃっていただいた通りですね。
0:49:47	代表設備に対しては、その分、
0:49:51	計算のプロセス意識を
0:49:55	負の計算書をつけるというイメージでして、
0:49:58	それ以外については、やり方は、可動部も同じですという前提に立ってですね、インプットとアウトプットを一覧表のような形でまとめてですね、
0:50:08	コンパクトにしたいという考えでございました。以上です。
0:50:13	今日タジリです。何か設計方針とか 00 シリーズでいいんだったら説明して説明し、
0:50:20	今方針があって、でも評価の方法とか、
0:50:29	あとパート、
0:50:30	書かれてる
0:50:39	日本でのセガワです
0:50:42	いただいた通りですね省力化できるのは、あくまで経産省の部分かなと思っておりますそれ以前ですね設計方針だとか評価方針だとか、
0:50:51	ところが共通的なものなのでここはしっかり、
0:50:55	まとめりごとにですね、示していかなきゃいけないかなと思っております。以上です。
0:51:02	規制庁タジリです。谷チェックの二つ目が設計方針から評価結果までの一連の設計を示します代表設備について言ってで、そのあと代表以外の設備については計算結果等を示すって形の方で頭がついてまたなおわかりづらいところあると思うんですけど。
0:51:17	内容以外の機器っていうのがどう違うのかってのがわかりづらいところがあるので、今の説明のような内容になるんだと思うので、もう少し中身がわかるように書いていただいた方がいいかなと思うんですけど、いかがですか。
0:51:30	やはり本音のセガワですよ。今口頭で申し上げた内容をですね少しキーワードちりばめてわかるように、修正したいと思います。以上です。
0:51:41	はい。規制庁田尻です。江藤、ちなみに
0:51:45	チェックの四つ目のところではありますが、規制庁カミデ今の話で二つ目の 0. なんですけど修正されると思うんですけど、
0:51:55	耐震で今話をしていることであると、

0:51:59	まずまとまりごとに設計プロセスを示します。
0:52:04	うん。
0:52:06	後に代表設備を選定して、評価であれば、評価の過程ですね、条件、
0:52:14	Dをちゃんと示した上で、
0:52:16	評価結果は01です。
0:52:20	代表以外については、インプット条件とかスケール3ケースを示すって いう、
0:52:26	今、耐震考えている。
0:52:28	ですから、
0:52:30	そのあたり、適切に文章上で、
0:52:33	はい。してもらえれば、
0:52:37	日本原燃の瀬川です。赤嶺さんがおっしゃっていただいた認識のつもり ですので、きちんと表現したいと思います。以上です。
0:52:48	はい。
0:52:50	はい、規制庁タジリです。
0:52:52	チェックの三つ目のところで、既認可から変更ないものの考え方を示す 時の手法が書かれてるんですけど、
0:53:00	ではここところで、要は変更がない事項について要は質の必要がない ことを示すっていうのと理屈一緒で、さっきまでの1ポツ目二つ目のチ ェックのところも一緒なんですけど、
0:53:12	企業さん代表の考え方っていうのをあわせて示すっていうところもまず 前提にあるかなと思うので、あたりも1当たり前なんですけど、
0:53:20	谷本の代表設備の選定の考え方ってのを説明した上でっていうところろ うがわかるようにしといてもらえると、何か割と多分そこが結局一番最 初スタートで議論になるような気がするんですけど。
0:53:44	あ、
0:53:45	日本原燃の瀬川です。
0:53:48	ちょっと私の理科伊井阿比留さんがおっしゃったところの理解をちょっ と確かなものにするのにちょっと、
0:53:57	例示をちょっと出させていたきたいんですけども。
0:54:00	今、例えば15名まさに今審査いただいていますけど当時この間、
0:54:07	早く解決状況なんていうのが一つキーワードとして出てきて、
0:54:13	また率要求に対しては対象となる設備、教頭構成変わらない、僅差通り でいいですというようなところを添付書類上で述べてこうしてるんで すけれども、
0:54:24	そこ2あれですかね崩壊熱状況で、

0:54:29	規制庁谷です。すみません、多分趣旨伝えたくなくなったんでもう1回なんですけど三つ目のチェックのところだと要はへ
0:54:38	ではないことの方。考え方。
0:54:41	説明の趣旨は、
0:54:44	代表性
0:54:49	けど、結局、
0:54:50	プロセスって言うてもどこまで求めるかっていう考え方の整理が結局議論になると思っていて、
0:54:56	なぜその代表設備を選定
0:54:58	の考え方とかをちゃんとすみません、示して議論してくんですよっていうところをわかるようにした方がいいかなってというのが、指摘の趣旨です。
0:55:07	萩谷セガワですか。わかりました。
0:55:09	理解しました。
0:55:17	と規制庁タジリです。
0:55:19	違いに一番最後の紙カクウってというのは、何年団今後もやっていくことも踏まえて、どういう位置付けでやってるかってのが世の中にわかりやすいように一応書いたってことですかね。
0:55:34	日本原燃の菅です。はい。そのつもりでございます。
0:55:39	はい、規制庁田尻です。あんま触れるようなところでもないかな。すみません。わかりました。ちょっとこの資料他の方からさ、あれば他にお願いします。
0:55:50	長カミデです。
0:55:53	運営するんですけど、
0:55:56	多分この会合、
0:55:58	今週やって、また次あると思うんですね。
0:56:03	その時にどんなことを説明するかっていうイメージを持って、
0:56:08	ておかないと。
0:56:10	この7ページで何を記載するかっていうのが、ちゃんと定まらないんじゃないかなと思って。
0:56:17	例えば4ページで今回やってますけど、これも前回の会議御説明事項からの展開って感じなんで、
0:56:26	そこのイメージを持った上で、7ページどうするかっていうことなんですけど、事業者として、
0:56:35	次、どんな説明をしたいかとかってイメージ持ってます。
0:56:42	日本原燃の瀬川でございます。11月を予定している会合ではですね、

0:56:50	この申請の特徴をより具現化した、結果じゃないですけども、
0:56:57	その成果というか、そういうものを報告したいなと思っていました。
0:57:02	具体的にちょっとどこまで踏み込んで書いていくかっていうのありますけれども、
0:57:08	各設計条件ごとにですね、どういうまとまりで説明していかなきゃいけないのかといったところを、さらにもうちょっと踏み込めばですね、どういう考え方でその設計条件に対して代表設備が選定されているのか。
0:57:24	そういった関係性、結論みたいなどころになりますけれども、
0:57:28	そういったところを見せたいと。
0:57:32	いうところとですねそれそのものですね、し、
0:57:36	第、次回申請も、
0:57:39	申請書の構成に、の外観になりますのでそういったところを示したいといったところ、あとですね、ちょっとこの7ページには書かれておりませんけれども、
0:57:50	その設計条件、説明のまとまりごとにですね、
0:57:55	どういう重点説明事項があるのかと。
0:58:00	言ったようなところについてもですね、少しアナウンスできればなと思っていました。以上です。
0:58:07	規制庁管です。イメージとしてはあれですかね点の一つ目、二つ目ぐらいがメインの説明事項になるかなって感じで三つ目は、
0:58:19	特段ってイメージですか。
0:58:25	はい。日本原燃の瀬川でございます。
0:58:28	三つ目はですね徳田氏してなかなか説明するにはちょっと迫力がないかなと思っておりまして、
0:58:35	江藤、第一グループでまさに閉じ込めなんかを例にですねやらせていただいている整理がしっかり着地できればですね、
0:58:46	ってというか、変更なしの設計の変更のないものについてもですね同様の整理していただけたらと思っていましたので、あまり三つ目のレ点に対して言及するって認識はなかったです。以上です。
0:59:01	はい。生協亀井です。そうすると、三つ目の話。
0:59:07	二つ目と同列に変えてしまわずに、
0:59:11	補足的な感じでレイアウトしてもらえればいいんじゃないかと。
0:59:16	その上で、
0:59:19	ピンクとの関係でいうと、
0:59:22	藤代表のところ、二つ目の0点。
0:59:27	2、

0:59:29	代表の観点というところで、関係するのかなと思ってますけど、その辺はどうですか。
0:59:45	はい。助川ですけれども。
0:59:48	ちょっと今すぐイメージがちょっとつかなかった。
0:59:51	そうですね。
0:59:56	です。
0:59:59	若菜さんと、
1:00:01	あとは一緒だとは思んですけど、
1:00:04	累計の時にある累計の部分は、だから同じ。
1:00:10	進めるようになり、代表もいない。
1:00:13	いうことになるし、いうようなことじゃないかなあ。
1:00:19	決定。
1:00:20	なので、上二つの
1:00:23	点の基礎に、こういう金額の変更なしなものかどうか。
1:00:32	変更事項なのか。
1:00:34	それに対してどういう説明が必要なのか。
1:00:37	いうふうに繋がってくるっていうことだと思ってますけど、認識は合ってます。
1:00:44	日本原燃の瀬川でございます今スタッフさんのおっしゃる通りですね、七つ順番としては、
1:00:52	設計条件をきちんと整理していった結果として、
1:00:56	既認可からの変更があるのかないのかといったところがそこで判別され、
1:01:02	設計の変更があるだとか新規要求だとか、そういったものに対しては、上二つのレ点の整理を進めていくし、許可がないというものについては、
1:01:14	変更がないという設計まとまりをきちんと整理した上で、
1:01:19	結構ナイロン既設して引用して終わると。
1:01:23	の流れです。はい。以上です。
1:01:26	わかる。
1:01:28	だって限定的。
1:01:45	ええ。
1:01:47	そのパーツパーツ、
1:01:49	ありやなしや、
1:02:03	いう流れかと思う。
1:02:05	う。

1:02:08	失礼しました。日本原燃清が失礼しましたおっしゃる通りですね一つ目のレ点は共通的にやることですので、間違いました
1:02:18	その通りだと思います。
1:02:21	はい。そこら辺がわかるようにしていただいとすると、近い、
1:02:27	変更、
1:02:33	第2回、
1:02:34	対応する。
1:02:43	これ、どの部分どの範囲。
1:02:52	最後に
1:02:58	はい。日本原燃の瀬川です。
1:03:01	ご出身理解しました。申請書をいかに発表するかといった部分について、この三つ目のレ点の寄与っていうのも非常に大きいので、
1:03:12	しっかり触れた方が、以上です。
1:03:20	規制庁、カミデです。
1:03:22	あとですね
1:03:24	今7ページの話をしてしまったけど、その申請の特徴性にすれば、
1:03:31	それでいいのかっていうところもあって、
1:03:36	5ページの二つ目のところですよね申請前に適切に反映するって言うことの準備状況っていう意味では、
1:03:47	何かこれだけじゃ足りないような感じがして、
1:03:50	最後の四角なり、これからこういう、
1:03:54	ことまでやらなきゃいけないんですけどっていうのは書かなきゃいけないんじゃないかと思ってますけど、いかがです。
1:04:05	日本原燃の瀬川です5ページに書いたこの反省事項その間の対応というのは、何も第一グループに限った話ではなくて、
1:04:15	もちろん第二グループを申請していくにあたってのベースになる部分ですので、
1:04:21	カミデさんのおっしゃるところの趣旨というのは理解しているつもりです。
1:04:27	で、あれですかね今のご指摘は、ここの、
1:04:32	7分です。
1:04:35	それでいうと、多分、
1:04:37	7ページの、
1:04:39	構成だと思うんですけど、特徴っていうわけではないので、あれなんですけど、
1:04:44	第1回は申請対象が、

1:04:50	目には出てこなかったけど、第2回は多いのでこういうような、
1:04:58	開かれたという理解でいい。
1:05:01	はい。日本エヌ日本原燃の瀬川です。おっしゃる通りです。
1:05:05	はい。補足です。そうすると、
1:05:10	第1回も含めてっていう意味だと区長というわけではないのであれなんですけど、その人五つ下の四角ですね。
1:05:17	相互理解を図っているところであるということなんですけど、結局は申請に向けてどう進むんですかっていう。
1:05:26	申請をするにあたっては第1回、
1:05:36	その特徴って書いたがゆえに、
1:05:40	訂正に向けてが少し見えなくなる。
1:05:46	はい。日本原電の瀬川です。江藤。まさにすし、7ページの最後の四角で言っているところっていうのはですね、5ページの、
1:05:57	一つ目の四角、コミュニケーション手戻りの排除という部分にも繋がりますし、
1:06:04	下の四角のですね。
1:06:05	事前準備という部分でですね。
1:06:08	申請書の構成の認識合わせというのをやらせていただいているという部分ですね、そのまんま言葉を変えての、
1:06:17	内容になっておるとい認識ではございます。以上です。
1:06:22	はい。そうすると、これを維持するんであれば、並んでもう一つの準備状況なのか何かわかんないんですけど、
1:06:31	立てて、
1:06:38	準備不足の部分と、
1:06:48	5ページの繋がり
1:06:53	その下の体制の話もあれば、
1:06:59	はい。日本原燃の瀬川です。宇井、今アドバイスいただいた部分ですね、5ページとの繋がりも良くなるという、思いますので、準備状況というようなグラフを立ててですね。
1:07:12	ページの繋がりを意識した記載の充実ちょっと図りたいと思います。以上です。
1:07:23	規制庁カミデです私の方からは以上です。
1:07:29	コサクです。あと1点
1:07:31	確認だけなのかもしれないんですけど、7ページの一番上の四角で、
1:07:38	8ページに飛ばすような書きぶりになってて、8ページ行って、
1:07:44	その前に、

1:07:50	まとめる方針で検討してますっていうことは書いてるんですが、
1:07:55	これって、
1:07:57	次のページのやつ全部説明済みでした。
1:08:03	日本原燃の瀬川です。まとめることを、そこをやってみますと、いうのが前回会合でのステータスで、
1:08:12	これを説明したのはそのあとのヒアリングになりますのでちょっと7ページの記載ではちょっと踏み込み過ぎです。はい。直します。以上です。
1:08:22	はい。
1:08:26	対になる
1:08:28	どう。
1:08:29	8ページ一応、
1:08:41	2グループ3グループをまとめるっていうのは設計支店長。
1:08:45	赤間。
1:08:50	大人の前に書いてあるからいいんですけど、
1:08:55	変更前の1と2をまとめるんだ。
1:08:58	どう。
1:08:59	それで考え、一度にをまとめるんだ。それでいい。
1:09:03	なぜかみたいなの。
1:09:13	どんな
1:09:23	はい、日本原燃野瀬浅沼コサクさんがおっしゃられたのは、まとめ、
1:09:32	何と言ったらいいでしょう、まとめることに対しては弊害がないというか、
1:09:38	ごめんなさい。
1:09:41	古作です。瀬川さん自体は閉会させたかもしれないです。
1:09:54	それをここに、
1:09:55	いうことの落とし前をつける必要があるんじゃない。
1:10:01	はい。日本原燃の瀬川です。すいません丁寧に説明していただいてありがとうございますおっしゃる通りですね。
1:10:07	ちょうどこの要領の今、秋谷議というか、余力が十分確保できたことも、今回まとめる前提になっておりますので、
1:10:19	そこの部分についてもしっかり言及するようにいたします。以上です。
1:10:48	多分、
1:10:48	これって、
1:11:06	田尻です。赤瀬。
1:11:15	時間があり、

1:11:17	セル間だけ聞いといていいですかねちょっとこの後多分資料の追加とかの話があると。
1:11:23	時間は
1:11:37	日本での生活まずちょっと、こういった資料の追加のリクエストがあるのかというのは置いといてですね置いといてもあんまり変わらないのかもしれませんが、
1:11:47	等あっ数の午前中いっぱいぐらいまでで、いただいたコメント反映したものを、また、提出させていただければなと思っておりますが、いかがでしょうか。
1:11:57	規制庁、立石タイミングはその形になってで、すいませんちょっとスケジュールだけ言っちゃったんですけどここまでの部分振り返りもお願いしていいですか。
1:12:13	はい。日本原電の瀬川でございます。
1:12:16	まず第一グループ第二グループの使い方っていうのはちょっと適切じゃないので、こちらしっかり訂正させていただきます。あと4ページにいきまして、
1:12:27	今、データ数というのを分けて書いておるんですけども、やはり進行中のものをちょっと曖昧な、曖昧なステータスのようなものもありますので、
1:12:38	ここは記載分けずにですね統合させる形でしっかり書きたいと思います。
1:12:44	あと申請対象の設備のメーカーについてはですね、最初に設備の特徴的な
1:12:52	設備の追加説明とか、そういった部分をきちんと、
1:12:57	これからも説明していかなきゃいかんという部分を、記載として表したいと思います。
1:13:03	あと累計カーについては、ちょっともう一度コサクさんは、いただいた内容をですねしっかり文字起こし確認して、反映いたしますけれども、
1:13:15	地震だとか在庫だとか、こういった部分については、具体の評価に入り込んでおりますので、
1:13:22	申請書をどうコンパクトにまとめ強く、まとめていくかといったところを見越してですね、次回に含めて、
1:13:31	どうコンパクトにするかといったところの、
1:13:36	検討が必要だというところで第一グループにおいて類型化しっかりやってみようかと、というような、

1:13:42	内容に改めたいと思っております。あと三つ目の申請書記載事項これはもう複数の反映の部分がキーワードとして抜けちゃってますので、
1:13:53	そこの部分もきちっと見えるようにしたいと思っております。
1:14:00	してますかね。すみません。
1:14:12	はい。
1:14:14	たように、
1:14:15	宇井やる。
1:14:22	そのなぜか。
1:14:26	作業項目というようなことで、
1:14:29	前回指摘が何かが全然わからないような話っていうのはちょっと困るということです。
1:14:39	はい。日本原燃の瀬川でございます。はい、承知いたしました前回との繋がりですね、前回、こういう指摘を受けてるから、
1:14:49	受けたことに対してこういう今ステータス、それに対してこういうステータスだという繋がり、きちんとわかるように、表現したいと思えます。
1:14:59	はい。続けさせていただきますと5ページですけれども、
1:15:05	まず一番上ですね当初設計に固執してたという部分とコミュニケーションというのは経組の並列で、別項目立てで書いたほうがわかりやすくなるだろうという、そういったところについてはちょっと全体含めてですね、
1:15:24	あと二つ目の鹿食うで、時間を要したといった部分を聞いてみると、ここに書いてある2項目以外にも、代表的なところがわかりますので、そういったキーワード、液状化とかですね、そういった
1:15:37	キーワードをしっかりと書き込むようにしたいと思います。
1:15:41	はい。
1:15:42	続いて7ページですけれども、
1:15:47	7ページの部分は最初の四角をちょっと踏み込み過ぎた記載の通り、訂正いたします申請の特徴の部分では、
1:15:55	そうですね。次回申請、次回の会合を11月の会合を見越してそこに繋がるような表現ということで、一つは、変更なしに対する、
1:16:08	についての記載、あと変更ありなし、新規要求に対しての記載といった部分を交通整理ちょっと記載上、交通整理させて、
1:16:19	次回会合で説明したいところへ繋がりを意識した内容にちょっと修正をさせていただきます。

1:16:26	あと最後の比較、これはどうするか、そういったような項目を発表させていただいて5ページの繋がり、
1:16:34	形式した記載に改めたいと思います。
1:16:52	うん。
1:16:53	大丈夫。
1:16:58	ハセガワですけれども、
1:17:00	ちょっと今委員会傍聴してたんです。
1:17:05	出た。
1:17:08	ハセガワですけれども、
1:17:11	大丈夫。
1:17:30	今これ、
1:17:40	そういうことです。
1:17:46	ですけど聞こえてる。
1:17:50	六ヶ所されております。すいませんちょっと委員会出たんで、終わっちゃってから、
1:17:57	というのもなんなんですけど、後半の部分の、次回申請の話で、今パワポが2枚ぐらいくっついてて1枚は、一括して出します。
1:18:12	2枚目か何かが方針か何か書いてあるんですけど、
1:18:18	うん。
1:18:19	今夏これぐらいだと、ちょっと足りないんじゃないかなと思っていて、
1:18:26	まず、
1:18:29	小野審議官が少し気にしている部分を、
1:18:34	組み込めないかなと思っています。気にしている部分っていうのは、まず皆さんは、条文ごとに整理して、
1:18:46	何かやるっていう。
1:18:48	ふうに、
1:18:49	したじゃないですか。
1:18:51	そうすると、
1:18:53	すいません、8月、申し訳ないです、今すごく大事なところの発言がですね、その音声飛び飛びでして、
1:19:01	本当に、
1:19:07	聞こえてる。
1:19:10	今の聞こえてるといのははっきり聞こえたんですけども、もう1回言うね。
1:19:14	衛藤。

1:19:16	まず、7 ペイジーとか、8 ページに書いてあるようなこと。
1:19:22	うん。
1:19:23	では少し足りないかなと思っていて、尾野審議官が時にしているところを少し追加できないかなと思ってます。ここまでいい。
1:19:36	はい。
1:19:36	この整理をこういうタイプで具体的に言うと、まず皆さんは、
1:19:42	と。
1:19:44	条文ごとに、チーム編成をしているので、それごとに説明をしたいというのが、前回の方針。
1:19:55	ノウハウです。江藤。先週の話、ここまでいい。
1:20:00	その通りです。今回は変更申請等、
1:20:05	基本的には変更申請が大部分を占めていて、新規のものも幾らかはあるんだけど、基本的に全部を説明する必要がないと。
1:20:19	いうふうな古藤でいいですね。
1:20:24	その通りです。うん。そうすると各条文ごとに何を説明していかって いうのを、表っぼくするなり、としてそれを、こういうことを説明しよう と思ってる。
1:20:37	ていう、この条文に対して、こういうことを説明しようとし、する考え ですっていうのを、ちょっと整理しておいて欲しいなというのが、
1:20:49	頭がいいんじゃないかなと。
1:20:52	思ってるんだけど、ここまでいい。
1:20:56	はい。理解しましたはい。うん。そうすると例えばね、例示的に言う と、耐震っていうところがあるじゃないですか。
1:21:13	大丈夫。
1:21:16	大丈夫です。
1:21:18	耐震の部分が、だとすると、
1:21:24	要は、許可の変更事項っていうのがあるとすると、許可で何を変更した かっていうと、基準地震動をなり、弾性設計用地震動を変更しましたっ ていう、
1:21:37	まず許可での変更事項があるでしょ、変更なり多分ここはね。
1:21:42	追加っていうことになると思うんだけど、
1:21:44	基準地震動の場合は変更だよな。
1:21:47	それ
1:21:50	はい。
1:21:51	そうすると変更事項に対して、何か説明するわけだから、その隣の行に は、

1:22:00	入力地震動を乗せ説明と、それから、
1:22:05	それに、入力地震動の説明と基準地震動が変わった、要は入力値が変わったことによる評価っていうのを説明することになるわけでしょ。
1:22:17	S sとS Dに対して、
1:22:20	はい。その通りです。でしょ。そういうふうにそれだけ、そのぐらいのレベルでいいから、Aと書いて欲しい。
1:22:29	その表ぐらいでいい例えば、外部火災だと、新規に追加されたわけだよな。
1:22:37	森林火災とか、近隣の衛藤そういう火災評価、火災何だか影響評価とかそういうのが、追加許可で追加しましたと。
1:22:47	そうすると、森林火災とか何らかの火災のそういうものを説明しますとかかっていう、なんかそんなふうにできていくでしょ。
1:22:59	はい。
1:23:04	だから、主な主要なところだけでいいから駒井谷津はね、例えばさっきの耐震設計でも一部モデルを変更しましたみたいなものがあるかもしれないんだけど、
1:23:15	それは主要なところではなく、ないから書いといてもいいけどね。
1:23:21	説明したいのの一部モデルの変更とか、
1:23:25	ていう、
1:23:28	おまけみたいな間Gにしとってもらってだから主要な事項っていうのと、M a a Sその他関連とかかっていうぐらいでもいいんだけど、そんなふうにしたらこういう、
1:23:40	感じねっていうのが大体わかってくると思うんだよね。そのくらいはまとめられない。
1:23:48	はい。まとめられる十分まとめられると思います。うん。そうすると大体物量感が見えてくるよね。
1:23:58	はい。おっしゃる通りだと思います。裾野の中であとは、代表選手を最大のものを選んでいきますとか、そんなふうなことも構想があるんじゃないの。
1:24:14	代表は応答が大きいやつとかこんなやつとかあんなやつとかかっていうのも、何かあるんじゃないの、皆さんの中には、
1:24:24	はい。
1:24:26	あるの。ないの。
1:24:27	わかりました。はい、じゃあそのぐらいいいの。何て言うのかな。

1:24:32	表で言うと、許可で変更して、条文があるよね。皆さんから言うとね、一番左側の欄に、条文書いて、次に許可の変更、主要な変更事項があって、
1:24:46	主要な、要は、尾関工認での説明の部分だよね、変更した部分だけで、
1:24:53	それと何か、
1:24:57	代表の
1:24:59	まず選定の基本、
1:25:02	みたいなさ感じで、MACCSのやつを選ぼうと思ってますとか、こんなやつを選ぼうと思ってるとか。
1:25:10	ていうぐらいのね、何か代表性書書けっていうことじゃなくて、選定の
1:25:17	基本的なところだけでいいのでそのぐらいの簡単な表でまとめられる。
1:25:27	はい。まとめられると思っております。うんさあ、三つ書いたやつは今日ぐらいに送って、それでそれ見て明日くんだっけ。
1:25:38	うん。
1:25:39	明日持ってきたらいいんじゃない。
1:25:41	だから、今さ、12時ぐらいまでに下に三行書いたやつをさ、
1:25:47	三つ四つ。
1:25:49	今のやつ。
1:25:50	つくれる。
1:25:54	はい。まあまあ、背景で早いほどいいよね。
1:25:58	今のこれ言葉で言ったからそれをちょっとイメージにし、
1:26:02	こんな感じっていうのをちょっと例を作ってそれで確認して、あと全水やって明日持ってこいよ。
1:26:10	はい。そういう段取りで。
1:26:13	わかりました。はい。以上最低限それ多分それぐらい出すと尾野さんは何となくイメージができていいんじゃないかなと。
1:26:25	いうふうに、
1:26:26	思います。
1:26:31	じゃ、特になければちょっと検討してみてください。はい。
1:26:35	承知いたしました。
1:26:38	だからスムーズに3条文を例にまずう、ぼっかり23時ぐらいをめぐりです、3時だとさ、ねこれね皆さん次第なんだよ。結局皆さんが明日持ってくるまでに、前、
1:26:51	全条文じゃなくてもいいけどね。
1:26:53	あらかた主要なところだけでもね。

1:26:59	はい。日本原燃の瀬川です。承知いたしました明日の面談に向けてはですね資料だということかまさに
1:27:09	要求が変更なるそういう意味で時間ないから、手際よくやるっていうんで午前中に送ってもらってもいいよ。
1:27:21	明日の午前中ですねわかりました。違うよ。そうだよ。すいません。
1:27:26	補足です。
1:27:27	はい。2課のヒアリングで自動文字起こしなので、もう少し節度を持った発言をしていただければと思うんですけど、すいません。
1:27:36	作業は適宜進めていただくとして、
1:27:42	あとその一式っていうのも、どこまで精査できるのかっていうのはあると思うので、必要必要とか主要なものはちゃんとやってもらわないと。
1:27:52	会合で話ができないということかと思いますが、うん。
1:27:55	11月にも会合をやる予定もあるので、
1:27:59	方向性がちゃんと確認できるということそれで11月で詰めができてその後の申請に向けて、認識が合うようになっていうふうに進められればと思いますけどよろしいですか。いいです。だから今回主要なところだけでもよくて、
1:28:14	大体イメージが、全体イメージが開けば、
1:28:17	いいかなと思います。ただ全数でなくても、構わない。
1:28:23	はい。補足ですありがとうございます。瀬川さんすべて作業適宜進めていただいてわからないことがあれば連絡いただき、
1:28:34	はい、ありがとうございます。
1:28:39	規制庁。
1:28:42	身長シミズとそれでは代表で作成し、したものを、今日の23時めどで関窓口、
1:28:50	に送っていただければと思います。
1:28:55	か全体を通して規制庁側から何か、
1:28:58	確認等ございますでしょうか。
1:29:03	と原燃側もよろしいでしょうか。
1:29:07	一つ確認させていただきたいんですが、この審議会をにちょっとご説明する資料っていうのは聞こえ荷物会合資料の方でよろしいでしょうか。すいませんコサクです。尾野審議官より説明する資料なんてつくれという。
1:29:22	出ませんので、
1:29:23	お伝えしたようにしていただきたいと思います。で、あくまで審査会合の、

1:29:29	です。
1:29:30	にあたってはそういう視点も必要なのではないかというふうにこちらからお話をしたと。
1:29:35	ということです、その資料が、こちらの意図に合ってるかどうかというのは適宜確認した方がいいのではないかという話でもあるんで、
1:29:44	作業の仕方で困ったことがあれば連絡くださいというふうに申しあげました。
1:29:50	以上です。
1:29:54	承知いたしました。ありがとうございます。
1:29:57	はい。それではよろしければこれでヒアリングを終了したいと思います。
1:30:03	録音を手島